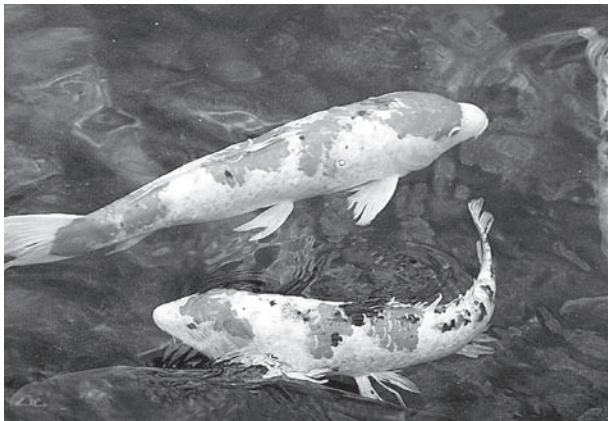


病気からコイを守ろう！

コイヘルペスウイルス病

●問い合わせ 振興課自立振興班 ☎78- 3 1 1 2（内2 2 6）

現在、県下の河川において、コイヘルペスウイルス病のコイへの感染が確認されています。コイヘルペスウイルス病は、コイ特有の病気であり、死亡率が非常に高く、感染力も強い病気です。発病するとコイには目立った外部症状は見られませんが、行動が緩慢となったり、餌を食べなくなるといった症状が現れます。コイヘルペスウイルス病が広がるのを防ぐため、皆さまのご協力をお願いします。



■人などにも影響はあるの？

コイヘルペスウイルス病は、感染したコイとの接触や水を通じて他のコイに感染しますが、コイ以外の魚や人への感染はなく、感染したコイを食べても人体に影響はありません。

■次のことを守りましょう！

県内水面漁場管理委員会の指示により、**県内の河川や湖沼などで採捕したコイを他の河川や湖沼などに放流することを禁止**しています。また、すでに死んでいるコイを見つけた場合は、役場担当課へお問い合わせください。

就業構造基本調査 統計調査に ご協力ください

就業構造基本調査とは

就業構造基本調査は、普段仕事をしているかどうかや就業に関する希望などについて詳細に調査するものです。調査は5年に一度実施され、本年はその実施年に当たり、10月1日を基準日として実施されます。

調査の方法は？

調査員が、9月上旬から調査区内の各世帯を訪問して、世帯名簿を作成します。その中から調査対象に選ばれた世帯には、9月下旬に調査員が訪問し、調査票を配布して調査票の記入をお願いするとともに、10月上旬には、記入済みの調査票の回収および記入の状況の確認などを行います。



●問い合わせ
総務課企画財政班 ☎78-3111（内218）

しっかりした生活習慣を心がけよう

津奈木町幼・保、小、中学校連携事業

●問い合わせ 教育委員会 ☎78-5400

津奈木町では幼稚園・保育園、小学校、中学校の間で行事の交流や情報交換会などの連携をさらに充実させるため、計画的に子どもたちをはぐむ取り組みをスタートしています。

平成24年度の取り組みは、次の表にある基本的生活習慣の定着を目指しています。この取り組みは各家庭との連携が不可欠となりますので、ご協力をお願いします。

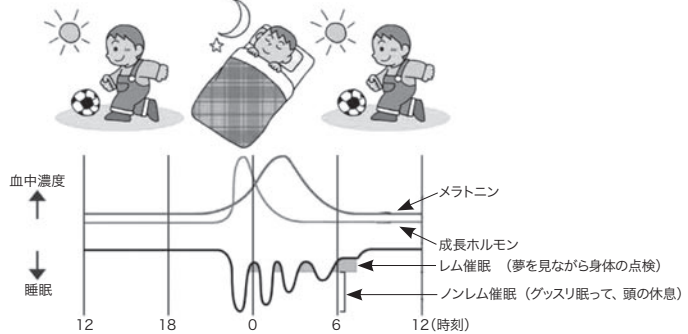
目指す子ども像 かしこく 元気で思いやりのある子

子どもの基本的生活習慣

成長過程

		あいさつ	睡眠		食事		話を聞く態度
				就寝時刻	睡眠時間		
幼稚園・保育園		3歳未満児：名前を呼ばれたら「ハイ」と返事をする。 3歳以上児：自ら進んであいさつをする。	決まった時刻に就寝、起床しようとする。	午後9時	10～11時間	3歳未満児：みんなと一緒に食べることを楽しむ。 3歳以上児：食事の大切さを知り、食に関して興味を持つ。	発達段階に応じた、話を聞く態度（話をする人の方を向く、目を見て話を聞く、最後まで聞く）を身に付ける。
小学校	低学年	自ら進んで大きな声であいさつをする。	決まった時刻に就寝、起床する。	午後9時	9時間	朝食の必要性に気付き、朝食を食べる習慣を身に付ける。	
	中学校		自ら進んで決まった時刻に就寝、起床する。	午後9時30分	8時間半	食事の必要性を理解し、バランスの良い食事に心がける。	
	高学年		決めた時刻の起床や就寝の習慣化ができる。	午後10時	8時間	健康的な生活をするために自分で食事内容を考える。	
中学校		自ら進んで明るく大きな声であいさつを交わすことができる。	家庭での生活リズムを設計し、計画的な睡眠時間の確保をする。	午後11時	7時間	健康的な生活をするために自分でバランスの良い食事を取るよう心がける。食事のマナーを身に付ける。	話をする人の立場や考えを尊重しながら聞き、自分の考えと比較したり、自分の考えを深めたりする。

睡眠時間が大切な科学的根拠



【参照】文部科学省HP「子どもの生活リズム向上ハンドブック」—生活リズムの確立と睡眠から—

メラトニン ……暗くなると分泌され始め、深夜にピーク。抗酸化作用でがんの発生を防いだり思春期まで第二次性徴が始めるのを抑える。幼児期が生涯のうち最も多く分泌。夜に強烈な光を浴びると分泌が遅れる。

成長ホルモン ……身体の成長を促し脂肪を分解。昼夜のリズムが出来てくる生後4か月頃から夜間睡眠時に分泌される。